

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	順正高等看護福祉専門学校
設置者名	学校法人順正学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科	夜・通信	83 単位	9 単位	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	74 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://junsei.ac.jp/koukan/zaigakusei/academic/#syllabus

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	順正高等看護福祉専門学校
設置者名	学校法人順正学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人順正学園のホームページにて公表 http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ヤマハリテイリング 音楽教室講師	2020.6.1～ 2024.5.31	教育
非常勤	(公財)笹川平和財団 常務理事 海洋政策研究所 所長 政策研究大学院大学 学長特別補佐	2020.6.1～ 2024.5.31	コンプライアンス
非常勤	飛島建設(株) 元代表取締役社長 ファンケル(株) 元常勤監査役	2020.6.1～ 2024.5.31	施設設備
非常勤	黒住教 名誉教主	2020.6.1～ 2024.5.31	地域連携
非常勤	テレビせとうち(株) 代表取締役会長	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	(株)山陽新聞社 監査役	2020.6.1～ 2024.5.31	広報
非常勤	元岡山県副知事	2020.6.1～ 2024.5.31	産学連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	順正高等看護福祉専門学校
設置者名	学校法人順正学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
シラバス作成ガイドラインを制定している。 ガイドラインが指示する項目 Ⅰ 基本方針 Ⅱ 記載事項と作成上の留意点 Ⅲ 実務者(経験者)による授業 作成過程 12月～2月 教務主任から授業担当者に作成依頼、回収 2月～3月末 内容精査、教務会議で最終確認 4月 新学期オリエンテーションにて配布、公表	
授業計画書の公表方法	http://junsei.ac.jp/koukan/zaigakusei/academic/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学科目の履修、及び単位認定方針を制定 ホームページに掲載、学生便覧に掲載 新学期オリエンテーションで説明する	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
各学期(前期・後期)で素点平均による順位を算出する 「素点の総合計÷科目の数」による順位で4分の1以内か否かを確認する なお、個人の成績表については、科目ごとに、優(100点～80点)、良(79点～70点)可(69点～60点)、不可(59点以下)の基準で表す 順位表サンプルを添付	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://junsei.ac.jp/koukan/zaigakusei/academic/

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第 21 条により次のとおり卒業要件を明示している。</p> <p>修業年限は、看護学科 3 年以上、介護福祉学科 2 年以上</p> <p>修得単位数は、看護学科 9.8 単位以上、介護学科 11.2 単位以上</p> <p>欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 以上の者は卒業を認めない</p> <p>卒業時に与える専門士の称号は、スクールポリシー（ディプロマポリシー）の理念に沿ったものである。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ</p> <p>学則</p> <p>http://junsei.ac.jp/koukan/zaigakusei/academic/#syllabus</p> <p>スクールポリシー</p> <p>http://junsei.ac.jp/koukan/gakka/kango/#anchor-tokucho</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	順正高等看護福祉専門学校
設置者名	学校法人順正学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
収支計算書又は損益計算書	http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
財産目録	http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
事業報告書	http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure
監事による監査報告（書）	http://junsei.ac.jp/edu/outline/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

看護学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療分野		看護専門課程	看護学科（単位制）	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	昼		講義	演習	実習	実験
3年		3000時間／98単位	1965 時間 /75単位	単位時間 /単位	1035 時間 /23単位	単位時間 /単位
			3000時間／98単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200人		84人	0人	10人	57人	66人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 看護師養成の学校として、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに沿ったカリキュラムを構成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学科目の履修、及び単位認定方針に従って実行している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>必要単位の取得と必要出席、終業年数により卒業を認定 進級は、年度末の成績を精査して進級判定を行う 卒業時に与える専門士(医療専門課程)の称号はディプロマポリシーに基づくものである。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>チューター(担任)制度により、日常的に指導、助言を行っている。 精神面では秘密保持(保護者、担任教員等にも)を確保したカウンセリングを受けられる。(ほっとルーム)</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	33人 (86.6%)	4人 (10.5%)
(主な就職、業界等) 病院(看護師)			
(就職指導内容) 年度当初のキャリアガイダンスと年間を通じた面接指導を組み合わせている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家資格受験資格が得られる。			
(備考)(任意記載事項)			

退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111人	11人	9.9%
(中途退学の主な理由) 成績不振、精神の不安定、これらを複合する要因		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター面接、奨学金の紹介、カウンセリング(ほっとルーム)の活用		

介護福祉学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
教育・社会福祉分野		社会福祉専門課程	介護福祉学科 (単位制)	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1926時間／112単位	1470時間 /98単位	単位時間 /単位	456時間 /14単位	単位時間 /単位
			1926時間／112単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		15	13人	3人	9人	12人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 介護福祉士養成の学校として、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則に沿ったカリキュラムを構成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学科目の履修、及び単位認定方針に従って実行している。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・必要単位の取得と必要出席、終業年数により卒業を認定 ・進級は、年度末の成績を精査して進級判定を行う ・卒業時に与える専門士（教育・社会福祉専門課程）の称号はディプロマポリシーに基づくものである
学修支援等
（概要） チューター（担任）制度により、日常的に指導、助言を行っている。精神面では秘密保持（保護者、担任教員等にも）を確保したカウンセリングを受けられる。（ほっとルーム）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (%)	9人 (90%)	1人 (10%)
（主な就職、業界等） 福祉施設・病院（介護福祉士）			
（就職指導内容） 年度当初のキャリアガイダンスと年間を通じた面接指導を組み合わせている。			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士の国家資格受験資格が得られる。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター面接、奨学金の紹介、カウンセリング (ほっとルーム) の活用		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	280,000 円	890,000 円	300,000 円	施設設備費
介護福祉学科	280,000 円	600,000 円	200,000 円	施設設備費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://junsei.ac.jp/koukan/koukanwp/wp-content/uploads/2020/05/A9R1k23k73_48i998_e8s.tmp_.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価は、学校評価基本指針に基づいて実施する。評価項目は、教育方針、教育活動、研究活動、就職・進路指導、その他 (管理) とした。評価委員は、保護者、外部講師、実習指導者から各 1 名選出した。今後の改善のために、職員会議で評価結果を共有し、教務会議、事業プロジェクト (国家試験対策、職員研修) で具体的な対策を講じる。 なお、今年度については、「令和元年度自己点検評価報告書」を評価委員に郵送し、評価回答票 (コメント、意見等) を返送してもらった。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岡山市教員委員会	1年	保護者より選出
鏡野町高齢者福祉施設協議会	1年	非常勤講師より選出
特別養護老人ホーム グリーンヒル順正	1年	実習施設より選出
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価員の評価コメントをまとめ、ホームページに公表している。 http://junsei.ac.jp/koukan/outline/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://junsei.ac.jp/koukan/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。